



園だより

文京区立第一幼稚園
令和3年度3月号

URL <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dai1-kg/>

力を発揮し、自分らしく、たくましく、

園長 田村 秀子

寒い日もありますが、園庭の紅梅のつぼみがほころび始め、可憐な花を咲かせています。子供たちが植えたチューリップの芽も伸び、冬の間蓄えた力を発揮して草花が輝く季節を迎えます。

幼稚園の子供たちも自分の力を発揮し、自分らしく、たくましく育ってきました。玄関に飾った七段飾りのお雛様を見て、「この人は何持ってるのかな?」「この中に何が入っているんだろう?」「この人は顔が白いけど、この人は顔がちょっと赤いね」など、いろいろ話す子供たち。そして着物や冠、扇、刀、髪飾りなどに興味をもった子供たちは、小さな手で一生懸命にお雛様を作り始めました。

年少組と年中組は様々な色柄の千代紙の中から、年長組は色とりどりの和風柄の布の中から、自分の好きな色柄を選びました。年少児は丸い千代紙を折って顔の形を貼り、自分で顔を描いて、素敵なお内裏様とお雛様ができました。年中児は紙コップに千代紙を貼り、表情豊かなお内裏様とお雛様です。年長児は発砲スチロールの玉を不織布で包み、ピンの体につけて、布の襟や着物を着せていきました。髪飾りや刀、屏風、土台の箱にも赤い紙を貼り、根気強く、作り上げました。子供たちの笑顔と素直な心が表れているような、心が温かくなるお雛様です。

作り方で分からないことがあると、友達に聞く姿、友達に材料のある場所や作り方を教えてあげる姿、作品を認め合う姿も見られました。



また、廊下や園庭では、こままわしが上手になり、いろいろな回し方を試す姿、ポックリに乗って歩くのが上手になり、下駄ポックリにも挑戦する姿、屋上で竹馬に挑戦し、どんどん上手になる姿など、いろいろな場で繰り返し取り組む姿が見られ、難しいことにも挑戦し、あきらめずに頑張る力が育ってきたことを実感します。

さて、保護者と学校運営連絡協議会の皆様には園評価アンケートの集計結果と考察を配布しました。その中で「本園は、体を動かして遊べる環境を工夫し、様々な運動遊びの体験を取り入れることで、心も体もたくましい子どもを育てている」という項目の平均が3.7でした。全員が「あてはまる」に○をつけると平均が4となるので、高い評価と思いますが、「主体的に遊びや活動に取り組む子ども」「友達とのかかわりを楽しみ、友達の思いに気付く子ども」の項目と比べると低い評価となるので、教員は残念がっていました。今年度、運動遊びの工夫に視点をあてて研究を進め、新しい遊びや環境をたくさん工夫したからです。また「特色ある園づくりに積極的に取り組んでいる」「保護者同士も顔見知りが増え、安心して過ごせている」などの項目も保護者の評価が比較的低かったので、来年度以降の課題とし、状況に応じて様々な工夫をしていきたいと思ひます。

大勢の保護者、地域の方々から様々なご意見をいただいたこと、コロナ禍でも園が様々な工夫をして教育活動を行ってきたことを評価していただいたことを嬉しく思います。より一層、保護者や地域とのコミュニケーションを大切にして教育活動の充実と子育て支援に取り組み、子供たちの成長につなげていきたいと思ひます。1年間、温かいご支援をいただいたことに心より感謝申し上げます。